

K D 5 5 0 0 A 取扱説明書

中級編

lesson	ケーブルの伝搬特性を測定して、設定してみましよう。	2 - 2
lesson	ケーブルの伝搬特性を手入力で、設定してみましよう。	2 - 3
lesson	伝搬速度率を登録してみましよう。	2 - 4
lesson	測定を止めて、他の障害を確認してみましよう。	2 - 4
lesson	測定を再開してみましよう。	2 - 5
lesson	測定画面を記憶してみましよう。	2 - 5
lesson	記憶した測定画面を表示してみましよう。	2 - 6
lessonXI	測定プローブを他の物と交換するときの零調整をしましよう。	2 - 7
lessonXII	オフセットを設定して、距離を逆算してみましよう。	2 - 7

Lesson ケーブルの伝搬特性を測定して、設定してみましょう。

1. 伝搬特性の測定をします。

より正確な測定をする為に、伝搬特性の測定並びに、設定をします。

サンプルケーブル30m以上を用意し、正確な長さをメジャーにて実測する。

下記の操作により、測定並びに、実測値を入力します。

測定モード

機能キー

メモリー選択

後キー

メモリー登録

後キー

サンプル測定

決定キー

サンプルを接続して下さい。

サンプルケーブルを接続

決定キー

サンプルの長さを入力

- ・次項キー カーソル右移動。
- ・増/減キー カーソル位置の数字増減
- ・取消キー
 カーソル左移動、カーソル位置数値0クリア
- ・機能キー
 入力単位切り替え m：メートル / F：フィート

決定キー

登録メニューに移行

lesson ケーブルの伝搬特性を手入力で、設定してみましょう。

1. サンプルのケーブルを用意します。その際に、正確な長さをメジャーにて実測する。
2. 本機の測定プローブにケーブルを接続し、測定します。
3. 実際の長さ、表示の長さが同じになるように伝搬速度率を設定します。

表示長さと伝搬速度率は比例します。下記の要領で設定します。

実際の長さ > 表示長さ 伝搬速度率を高くする。

実際の長さ < 表示長さ 伝搬速度率を低くする。

手入力による伝搬特性の入力手順。

測定状態で、増/減キーにより、設定します。

lesson 伝搬速度率を登録してみましょう。

1. 現在設定されている伝搬速度率を名前を付けて、メモリー登録します。
2. 登録のしかた。

測定モード

機能キー

メモリー選択

後キー

メモリー登録

決定キー

選択 [登録場所]

・機能 / 次項 / 前 / 後キーで選択。

決定キー

コメント入力

・機能キー 入力文字種の選択

・前後キー 入力文字選択

次項キー カーソル前進

取消キー カーソル後進
文字削除

決定キー

測定モード

3. 登録した伝搬速度率は、簡単に呼び出せます。

測定モード

機能キー

メモリー選択

決定キー

選択 [登録場所]

・機能 / 次項 / 前 / 後キーで選択。

決定キー

測定モード

lesson 測定を止めて、他の障害を確認してみましょう。

1. 測定を止めると。最大障害発生箇所より手前の障害を確認できます。
2. 測定停止のしかた。

測定状態

止キー

測定停止状態

伝搬速度率の先頭文字が、「止」になります。

障害表示位置の変更

・前 / 後キー 表示位置を変更します。

lesson 測定を再開してみましょう。

1. 測定再開のしかた。

測定停止状態

測キー

測定状態

伝搬速度率の先頭文字が、「上下矢印」になります。

lesson 測定画面を記憶してみましょう。

1. 表示中の測定画面を記憶します。
2. 画面の記憶のしかた。

測定モード

表示取り込みキー

! n 測定画面記憶

・前後キーで登録場所を選択

決定キー

測定モード

lesson 記憶した測定画面を表示してみましょう。

- 1 . lesson で記憶した画面を表示します。
- 2 . 記憶画面の表示のしかた。

測定モード

機能キー

メモリー選択

後キー

メモリー登録

後キー

サンプル測定

後キー

記憶画面表示

決定キー

画面選択

・前後キー 画面選択

決定キー

記憶画面の表示

表示の右上が、点滅します。

決定キー

測定モード

lesson I 測定プローブを他の物と交換するときの零調整をしましょう。

1. 測定プローブを変更する場合。零調整を行います。
2. 零調整のしかた。
測定プローブを本体に接続し、まっすぐに伸ばす。
測定プローブの先端は短絡し、なにもつながらない。
下記の操作を行います。

測定モード

ADJキー
2秒押す

ゼロADJしました。

測定モード

3. 2の操作後に「ゲンテン」表示する事を確認する。表示しない場合は、2を再度行います。
4. 零調整された値はメモリーに記憶され、電源を切った状態でも保持されます。

lessonXII オフセットを設定して、距離を逆算してみましょう。

1. 任意の障害位置を基準にして、距離を表示します。
2. 設定値を0基準として、手前を負、後を正で表示します。
3. 測定中、測定停止中に関わりなく。基準を設定できます。
4. オフセットを解除するには、電源を再投入してください。
5. 下記の操作で、オフセットを設定します。

測定モード

オフセットキー
2秒押す

表示のオフセット表示部にオフセット値が表示され、
障害位置表示部には、同設定値を基準とした位置が、
表示されます。

「ピッ」とブザーが鳴ります。

測定モード